

みなさま
西条市議会@真鍋あきのぶです。

最近のコロナウイルス感染者の多発に対してのお問合せ及び、
3月定例会におけるコロナ経済対策についてお知らせします。

特に経済対策では、現在の西条市のコロナウイルス感染状況による、
影響を受けている方への支援策になっていない？と疑問を持たれる方も
多いと思います。
まだ、市議会の中でもこのような提案に至っておらず、市議会と
市長部局へ働きかけて参ります。

Q1. 西条市でクラスターが発生しているが、公表をしない理由？
知ることで感染予防ができるのでは？
公表をしないことで、すべての飲食店に影響が生じているのでは？

→県が公表の有無を決定しているため、市としても承知していない。(市担当部)
→感染者の囲い込みができていないのではないか。(県議会議員)
→公表は、した事によるメリット(感染の恐れを各自が把握できるなど)があれば、
しなかった事によるデメリット(誹謗中傷など)もある。
感染者の増加を招く恐れを判断基準として、県に一任する他ない。(真鍋)

【市独自のコロナ経済対策】

- ・中小企業等チャレンジ支援事業（資料参照）
新たな挑戦の取組みに対して補助金 2/3(自己資金 1/3)
- ・電子商品券発行事業（資料参照）
1セット(1万円)に25%のプレミアム(12,500円)
※スマートフォンなど保有していない方に配慮し、紙による商品券を検討中
(臨時議会開催予定あり)

以上に対して、真鍋は質疑を実施しました。

詳しくは、議会中継(動画)をご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=qwtIQxCsZCU>

Q1. チャレンジ支援は、資金的な余裕がなければ、申請できない。

資金繰りに困窮している方への支援に繋がらない。

電子商品券は、第3波が落ち着いた段階で、すぐさまの事業でない。

商品券の利用店となった事業者であっても、その商品やサービスを購入しない。

または、利用する必要がないことにより、全く恩恵を受けない業種がある。

前回の石鎚藩札では、取扱店に登録したが、利用が無かった事業者もあった。

この事業の有効性は？

→チャレンジ支援は、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の社会経済の変化を見据えた
業態転換や経営力向上など、新たなチャレンジを積極的に支援することで、
事業者の体質強化が図られ事業継続、雇用維持に繋がる。

→電子商品券は、飲食・小売り・サービス業などの特にコロナウイルスの影響を大きく
受けている事業者を応援する事業であり、市内に5億円以上の経済効果を生み出す。
多くの市民・参加店舗の拡大を推進する。

Q2. 前年度と今年度の確定申告書を根拠に、例えば、売上げ前年度比 50%以上から、
減少割合に応じた変動給付金の支給事業等が可能ではないか？

6月の『頑張ろう！小規模事業者・農林水産事業者応援給付金支給事業』を主軸と
した、三本目の矢が必要であったと考えている。

追加支援の必要性は？

→これまでの融資制度などと共に、今回の2つの事業を実施することにより、
経営力強化が向上し、社会経済の変化に対応できる体質の強化が図られる。
サポート体制が重要であり、産業情報支援センター(SICS)を活用してほしい。